



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 ブロードメディア株式会社
 コード番号 4347 URL <http://www.broadmedia.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 押尾 英明
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6439-3983

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,414	5.1	63	32.0	63	99.8	73	
29年3月期第1四半期	3,249	8.8	47		31		56	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 103百万円 (%) 29年3月期第1四半期 29百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	1.06	0.94
29年3月期第1四半期	0.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	8,015	3,039	25.3	29.52
29年3月期	7,800	2,942	25.1	28.49

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,027百万円 29年3月期 1,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	6.4	250	33.7	200	49.3	50		0.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	69,861,611 株	29年3月期	69,861,611 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,157,427 株	29年3月期	1,157,332 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	68,704,186 株	29年3月期1Q	68,268,382 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期と比べ165,290千円(5.1%)増加し、3,414,781千円(前年同期は3,249,490千円)となりました。「スタジオ」は減収となりましたが、その他すべてのセグメントが増収となったことで、売上高は増加いたしました。

営業利益は、63,152千円(前年同期は47,849千円)となりました。「放送」「ネットワーク営業」は前年同期と同水準となりましたが、「コンテンツ」の損失が改善されたことや、「技術」が好調に推移したことにより、「スタジオ」の減益を吸収し増益となりました。

経常利益は、63,570千円(前年同期は31,823千円)となりました。営業利益に加え、持分法による投資利益を計上したこと等が主な要因となり、経常利益も増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益は、73,106千円の利益(前年同期は56,551千円の損失)となりました。役員退職慰労引当金戻入額を特別利益に計上したことに加え、前期においてルネサンス・アカデミー(株)を完全子会社化したことにより、同社の利益が非支配株主に帰属する四半期純利益として控除されることがなくなったことや、連結納税の対象となり税金費用が減少したこと等により、黒字化いたしました。

(平成29年6月30日現在)

セグメントの名称	事業内容	主な業務の内容	主な連結子会社
コンテンツ	クラウドゲームサービス	<ul style="list-style-type: none"> クラウドゲーム機「G-cluster」の販売及びクラウドゲームサービスの提供 通信事業者へのクラウドゲームプラットフォーム提供及びゲーム事業者へのクラウドゲーム機能提供 スマートフォン向けクラウドゲームアプリの提供 	ブロードメディアGC(株) Oy Gamecluster Ltd.
	デジタルメディアサービス	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンサイト「クランクイン！」等の企画・運営 マルチデバイス向け映像配信サービス「クランクイン!ビデオ」の提供 モバイルサイト「ハリウッドチャンネル」等、複数サイトの企画・運営 	ハリウッドチャンネル(株)
	教育サービス	<ul style="list-style-type: none"> イーラーニングシステムを利用した単位制・通信制高校「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」「ルネサンス大阪高等学校」の運営 	ルネサンス・アカデミー(株)
放送	釣り専門チャンネル	<ul style="list-style-type: none"> 衛星基幹放送事業「BS釣りビジョン」の番組制作、放送及び、ケーブルテレビ局等への番組供給 映像の受託制作 	(株)釣りビジョン
スタジオ	制作事業	<ul style="list-style-type: none"> 日本語字幕制作、日本語吹替制作、文字放送字幕制作、番組宣伝制作 	ブロードメディア・スタジオ(株)
	番組販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ハリウッド映画等のテレビ局への供給 	
	映画配給事業	<ul style="list-style-type: none"> 劇場映画の製作・配給、DVD/Blu-rayの発売、テレビ放映権の販売、VOD権の販売 	
技術	デジタルシネマサービス	<ul style="list-style-type: none"> ブロードメディア*CDN for theaterの提供、及び上映システム的设计・販売及びレンタル 	—
		<ul style="list-style-type: none"> 映画館へデジタル機材の導入を推進する配給・興行向けVPFサービスの提供 	デジタルシネマ倶楽部(株)
	CDNサービス	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツを最適な形で配信するCDNサービスの提供 	ブロードメディア・テクノロジーズ(株)
	その他サービス	<ul style="list-style-type: none"> ホテルの客室、会議室へのインターネットサービスの提供、機器の監視及び保守サービスの提供 	(注) 1
ネットワーク営業	ブロードバンド回線販売	<ul style="list-style-type: none"> 「SoftBank 光」サービスの販売 「Yahoo! BB」及びその他商材の販売 	—
	ISPサービス販売	<ul style="list-style-type: none"> 「Yahoo! BB」ISPサービスの販売 	
	携帯電話サービスの取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 「ソフトバンク・モバイル」の携帯電話サービスや携帯端末の取り扱い 	

セグメントの 名称	事業内容	主な業務の内容	主な連結子会社
全社費用		・ブロードメディア(株)本社の管理業務(人事総務、財務経理、法務等)及びグループ会社の統括管理	—
その他(注)2		・中国における、釣り番組のコンサルティング、釣りポータルサイトの運営、釣り関連商品の販売、釣り大会の運営等	湖南快樂垂釣發展有限公司
		・全テレビ番組録画機の企画・製造・販売、及びテレビ番組ソーシャルサービスの運営	ガラポン(株)

- (注) 1 CDNソリューションズ(株)は平成29年6月2日付でルーネット・システムズ(株)を吸収合併し、ブロードメディア・テクノロジーズ(株)に商号変更いたしました。
- 2 「その他」に含まれる事業は、全て持分法適用関連会社における事業であるため、報告セグメントには含まれておりません。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの売上高及び営業利益の概況は、以下のとおりです。

①コンテンツ

「コンテンツ」セグメントは、クラウドゲームサービス、デジタルメディアサービス、教育サービスで構成されており、テレビ・PC向けの動画配信、スマホ・タブレット向けのコンテンツ配信及び広域通信制高校に至るまでの広範な事業を行っております。

売上高は、前年同期と比べ52,108千円(10.6%)増加し、543,705千円(前年同期は491,596千円)、営業利益は、9,066千円の損失(前年同期は62,285千円の損失)となりました。教育サービスは、入学生徒数が増加し、増収増益となりました。また、クラウドゲーム事業及びデジタルメディアサービスは、いずれも売上高が伸びたことで営業損失が縮小いたしました。

②放送

「放送」セグメントは、釣り専門番組「釣りビジョン」の制作、並びにBS・CS放送及びケーブルテレビ局等あての番組供給事業を行っております。

売上高は、前年同期と比べ96,190千円(6.8%)増加し、1,501,483千円(前年同期は1,405,293千円)、営業利益は82,047千円(前年同期は89,579千円)となりました。

原価率の高い受託制作売上は増加し、一部の視聴料収入は減少いたしました。その結果、売上高は増加いたしました。営業利益は若干減少いたしました。

③スタジオ

「スタジオ」セグメントは、映画やドラマ等の映像作品の調達、日本語字幕・吹替制作から、その作品の配給、販売を行っております。

売上高は、前年同期と比べ76,257千円(11.0%)減少し、614,584千円(前年同期は690,841千円)、営業利益は292千円(前年同期は54,293千円)となりました。番組販売事業はテレビ局向け番組販売が増加し、増収増益となりました。一方、制作事業は黒字を計上したものの、受注が弱含みで推移したことや、拠点の整理に伴う一時費用が発生したことが影響し、「スタジオ」セグメントは減収減益となりました。

④技術

「技術」セグメントは、デジタルシネマサービス及び「ブロードメディア*CDN」等のCDN(コンテンツ・デリバリー・ネットワーク)サービス及びホテルの客室、会議室へのインターネットサービスの提供を行っております。

売上高は、前年同期と比べ79,809千円(17.5%)増加し、535,143千円(前年同期は455,334千円)、営業利益は86,311千円(前年同期は75,148千円)となりました。CDNサービスは堅調に推移したことで増収増益となりました。また、前期において技術サービスに係る固定資産を減損処理したことから、売上原価が減少いたしました。これらの結果、売上高は増加し、営業利益も増益となりました。

⑤ネットワーク営業

「ネットワーク営業」セグメントは、ブロードバンド回線(Softbank 光)やISPサービス、携帯電話サービス等の販売代理店として、通信回線販売業者等の事業者を通じて販売活動を行っております。

売上高は、前年同期と比べ13,439千円(6.5%)増加し、219,864千円(前年同期は206,424千円)、営業利益は166千円の損失(前年同期は6,384千円の利益)となりました。ブロードバンド回線(Softbank 光)の販売が前年同期と同水準で推移したことから、売上高、営業利益とも前年同期と同水準となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、番組勘定や前払費用が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ154,341千円増加し、6,172,217千円となりました。固定資産は、リース資産が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ61,521千円増加し、1,843,733千円となりました。これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ215,862千円増加し、8,015,950千円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、買掛金や短期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ208,376千円増加し、3,092,667千円となりました。固定負債は、役員退職慰労引当金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ89,407千円減少し、1,884,069千円となりました。これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ118,968千円増加し、4,976,737千円となりました。

(ハ) 純資産

親会社株主に帰属する四半期純利益73,106千円を計上したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ96,894千円増加し、3,039,213千円となりました。これにより、自己資本比率は25.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて394,713千円減少し、1,909,508千円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、マイナス411,010千円(前年同期はマイナス93,489千円)となりました。税金等調整前四半期純利益139,654千円を計上しましたが、たな卸資産や前払費用が増加したことや法人税等の支払を行ったことから、営業活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなりました。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、貸付や固定資産の取得による支出があったこと等から、マイナス58,995千円(前年同期はマイナス65,573千円)となりました。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済がありましたが、短期借入による収入があったこと等により、プラス72,581千円(前年同期はプラス966,750千円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月28日の決算発表時に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,304,221	1,909,508
受取手形及び売掛金	2,210,697	2,242,418
商品及び製品	41,500	26,650
仕掛品	97,616	95,906
原材料及び貯蔵品	18,676	17,941
番組勘定	1,129,248	1,446,552
その他	223,194	436,904
貸倒引当金	△7,279	△3,664
流動資産合計	6,017,875	6,172,217
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	492,703	516,773
その他(純額)	291,335	303,594
有形固定資産合計	784,039	820,367
無形固定資産		
のれん	107,576	104,886
その他	97,240	103,437
無形固定資産合計	204,817	208,324
投資その他の資産		
投資有価証券	471,932	499,264
破産更生債権等	1,386,683	1,362,609
その他	445,517	436,120
貸倒引当金	△1,510,778	△1,482,954
投資その他の資産合計	793,355	815,040
固定資産合計	1,782,212	1,843,733
資産合計	7,800,087	8,015,950

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	689,076	906,187
短期借入金	210,000	366,902
未払法人税等	121,950	44,676
賞与引当金	122,851	56,422
その他	1,740,413	1,718,479
流動負債合計	2,884,291	3,092,667
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	975,000	975,000
役員退職慰労引当金	115,833	-
退職給付に係る負債	153,530	159,918
リース債務	661,402	660,039
その他	67,711	89,111
固定負債合計	1,973,477	1,884,069
負債合計	4,857,769	4,976,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,969,996	2,969,996
資本剰余金	2,412,527	2,412,527
利益剰余金	△3,284,107	△3,217,349
自己株式	△175,245	△175,253
株主資本合計	1,923,170	1,989,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,315	△1,447
為替換算調整勘定	35,813	39,445
その他の包括利益累計額合計	34,498	37,998
非支配株主持分	984,649	1,011,294
純資産合計	2,942,318	3,039,213
負債純資産合計	7,800,087	8,015,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,249,490	3,414,781
売上原価	2,247,240	2,438,479
売上総利益	1,002,249	976,302
販売費及び一般管理費	954,400	913,149
営業利益	47,849	63,152
営業外収益		
受取利息	29	58
受取配当金	611	538
為替差益	28,507	609
貸倒引当金戻入額	14,732	7,363
持分法による投資利益	-	11,088
その他	5,593	7,820
営業外収益合計	49,473	27,479
営業外費用		
支払利息	21,171	17,139
持分法による投資損失	32,129	-
解約違約金	-	7,470
その他	12,198	2,452
営業外費用合計	65,499	27,061
経常利益	31,823	63,570
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	-	64,916
持分変動利益	-	11,167
特別利益合計	-	76,084
税金等調整前四半期純利益	31,823	139,654
法人税、住民税及び事業税	28,905	27,773
法人税等調整額	17,879	12,129
法人税等合計	46,784	39,902
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,960	99,751
非支配株主に帰属する四半期純利益	41,590	26,645
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,551	73,106

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,960	99,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△600	△132
為替換算調整勘定	3,898	1,786
持分法適用会社に対する持分相当額	△18,296	2,458
その他の包括利益合計	△14,998	4,112
四半期包括利益	△29,959	103,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71,549	77,219
非支配株主に係る四半期包括利益	41,590	26,645

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	31,823	139,654
減価償却費	93,458	67,343
のれん償却額	3,431	4,066
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,608	△6,054
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,012	△66,428
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,083	△115,833
受取利息及び受取配当金	△640	△597
支払利息	21,171	17,139
持分法による投資損益(△は益)	32,129	△11,088
持分変動損益(△は益)	-	△11,167
売上債権の増減額(△は増加)	34,098	△31,629
たな卸資産の増減額(△は増加)	84,613	△300,008
仕入債務の増減額(△は減少)	△145,421	217,111
未払又は未収消費税等の増減額	20,279	△1,113
その他の資産・負債の増減額	△112,463	△233,879
その他	4,741	23,908
小計	14,684	△308,576
利息及び配当金の受取額	611	538
利息の支払額	△21,177	△16,955
法人税等の支払額	△87,608	△86,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93,489	△411,010
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△21,643	△27,581
投資有価証券の取得による支出	-	△2,750
のれんの取得による支出	△60,000	-
貸付けによる支出	-	△30,000
貸付金の回収による収入	2,500	3,750
その他	13,570	△2,413
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,573	△58,995
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	150,000
新株予約権付社債の発行による収入	1,000,000	-
株式の発行による収入	50,000	-
配当金の支払額	△1	-
リース債務の返済による支出	△82,998	△77,409
その他	△250	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	966,750	72,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,588	2,710
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	805,097	△394,713
現金及び現金同等物の期首残高	1,432,125	2,304,221
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	9,794	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,247,017	1,909,508

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

当社が発行した第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の一部について、当第1四半期連結会計期間後、平成29年7月28日までに権利行使が行われ、資本金125,000千円、資本剰余金125,000千円が増加しております。この結果、資本金が3,094,996千円、資本剰余金が2,537,527千円となっております。詳細は、重要な後発事象の注記をご覧ください。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						全社費用	合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	計		
売上高	491,596	1,405,293	690,841	455,334	206,424	3,249,490	—	3,249,490
セグメント利益又は損失 (△)	△62,285	89,579	54,293	75,148	6,384	163,120	△115,271	47,849

(注) セグメント利益または損失(△)における「全社費用」は、報告セグメントに帰属しない共通費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に差額があります。その差額の内容は報告セグメントに帰属しない共通の費用であり、グループ本社(ブロードメディア株)の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「コンテンツ」セグメントにおいて、Gクラスタ・グローバル株から事業資産を譲受いたしました。また、Oy Gamecluster Ltd.及びG-cluster, Inc.の全株式を取得したことにより、同社を連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては85,627千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						全社費用	合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	計		
売上高	543,705	1,501,483	614,584	535,143	219,864	3,414,781	-	3,414,781
セグメント利益又は損失 (△)	△9,066	82,047	292	86,311	△166	159,418	△96,265	63,152

(注) セグメント利益または損失(△)における「全社費用」は、報告セグメントに帰属しない共通費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に差額があります。その差額の内容は報告セグメントに帰属しない共通の費用であり、グループ本社(ブロードメディア株)の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(転換社債型新株予約権付社債の権利行使)

当社が発行した第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の一部について、当第1四半期連結会計期間後、平成29年7月28日までに権利行使が行われております。その概要は以下のとおりです。

- ① 新株予約権の行使個数 10個
- ② 転換社債型新株予約権付社債の減少額 250,000千円
- ③ 資本金の増加額 125,000千円
- ④ 資本剰余金の増加額 125,000千円
- ⑤ 増加した株式の種類及び株数 普通株式 2,380,950株